

地域の声を活かして事故削減

- 名阪国道は『自動車専用道路10km当たりの死亡事故件数』が、平成16年から**6年連続全国ワースト1位**。
- 住民や道路利用者の意見を事故対策に活かしていくため**懇談会を開催**。
- 懇談会での整備方針・対策案に沿って対策実施**。
- 対策箇所では**事故件数が前年比で約25%減少**、名阪国道全体の**人身事故削減目標を達成し、更に減少傾向**。
- 事故による**渋滞も減少傾向**。

位置図



対策の実施

●これまでに実施した主な事故対策(H18～H21)

※亀山IC～壬生野ICの例



懇談会の開催

●名阪国道の安全安心走行を考える懇談会

平成22年3月18日に伊賀市下柘植のふるさと会館において、懇談会を開催。(平成19年度より継続的に開催している)

懇談会メンバーを以下に示す。

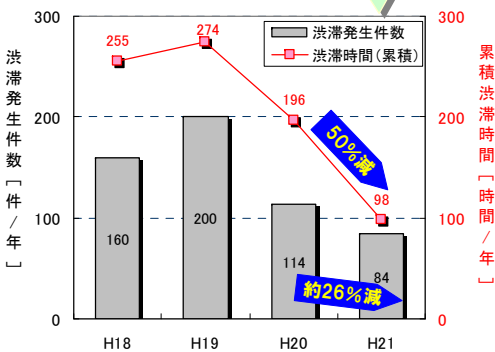
- ・トラック協会
- ・商工会議所
- ・観光協会
- ・地元自治会
- ・女性会議
- ・高速道路交通警察隊
- ・三重県
- ・亀山市、伊賀市
- ・国土交通省



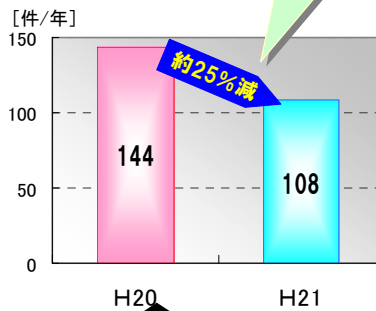
効果

平成21年度には対前年比で、**渋滞時間50%減**、**渋滞発生件数が約26%減**。**経済損失額は約10億円削減**。

●事故による渋滞発生状況の変化



●事故対策箇所における事故件数の変化



平成20年度に実施した
・対策箇所数:18箇所
・対策工の数:21箇所

懇談会の整備方針・対策メニューへの取り組みにより、削減目標を達成し、更に減少傾向!

●名阪国道全体の目標達成状況(死傷者数)

